

# 議会だより

元いっしょいっしょ!  
**土庄町**



四海小学校



豊島小学校



北浦小学校



湊崎小学校



土庄小学校

**大空へはばたけ!!**  
**新1年生103名**

No.36 c o n t e n t s

- 平成21年度当初予算…………… 2P
- 常任委員会の活動…………… 3~5P
- 一般質問…………… 6~8P
- 交通問題特別委員会…………… 8P



# 施政方針に対する質問

## 山口議員

- ・ 行財政改革の成果、反省と今後の具体策
- ・ 地域コミュニティの確立、再生
- ・ 職員の資質の向上・協働の社会づくり
- ・ 包括的サービス
- ・ 緊急雇用対策
- ・ 景観法の問題
- ・ 今後の観光振興
- ・ 庁内プロジェクトチームについて
- ・ 緊急雇用対策事業
- ・ 海の駅の誘致
- ・ 土庄港の仮桟橋の有効活用

- ・ バイオディーゼル燃料について
- ・ 小学校の再編問題
- ・ 放課後子ども教室
- ・ 「かどや製油」との地域振興

## 丹生議員

- ・ 慢性的な医師や看護師不足について
- ・ コールセンター誘致について

## 上川議員

- ・ 今後の人的サービスについて
- ・ 町の将来像について

## 川口(功)議員

- ・ 町長の今年にかける決意について

### ◇2月臨時会で決まったこと◇

2月臨時会が2月18日に開催され、次の議案が全員一致で可決されました。

- 平成20年度一般会計補正予算【4億1,578万1千円増額】
- 条例改正 1件  
(土庄町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)
- 土庄中学校校舎改築工事に伴う工事請負契約変更 3件

# 常任委員会の活動

## 総務建設委員会

### 〔現地視察〕

吉ヶ浦駐車場の整備状況を視察し、現場では、駐車場内の舗装も終わって整備が進んでいました。

その後、エンジェルロードへ行き、「エンジェルロード公園」の整備状況について説明を受けて、現地視察は終了しました。

## 建設課

土庄港周辺整備計画について説明があり、耐震岸壁を整備するに伴って高松行高速艇乗場が移設したこと、港務所周辺に人も車も集中するようになり、現状にあった周辺整備を実施するため、関係機関との協議に入っているとのことでした。

## 総務課

画の話をし、協力はしていただけると聞いているとの説明がありました。

学校の廃校跡地利用について説明があり、旧大鐸小学校は、地元の協力により、福祉施設地域密着型サービス事業として、利用されています。

旧大部小学校は、一部を地域ふれあいサロンの活用されているが、校舎撤去も検討の中に加えて欲しいとの地元要請がありました。

旧戸形小学校は、「アート・ビオトープ小豆島」が昨年の5月にNPO法人として設立認定され、運営の検討をしているとの説明がありました。

第2点目は、定額給付金の説明があり、町が事業主体として、景

気後退下での住民の不安に対処するため、定額給付金を住民に広く給付することにより、地域の経済対策に資するもので、国の全額補助事業であり、給付対象の基準日は、平成21年2月1日で、給付額は、1人につき1万2千円。ただし、65歳以上の方および18歳以下の方は、1人につき2万円との説明でした。

**委員より**、高齢者など申請が出てこない場合等、どのようにチェックするのかとの質問に対し、執行部より、全国的にネックとなっているが、民生委員や自治会長にお願いする等、1件ずつ調査していきたいと説明がありました。

## 企画課

行財政改革の取り組み状況とその進捗状況は、事務、事業、予算執行を各部署が進めているので、それぞれの部署が、いかに認識し、推し進めるか、各部署の連携を密にし、全職員の改革への意識徹底を図りながら、



吉ヶ浦駐車場整備現地視察

実施計画に基づき取り組みたいとのことでした。

内容は、一般行政職の削減、旅費の見直し、職員の本宅宅配などにより歳出の削減を図るとともに、し尿収集手数料の改正、広報紙等への広告掲載など歳入の確保を図っていると説明がありました。

次に、ふるさと納税の寄附状況は、現在11件、84万円の寄附があり、県下の町では、小豆島町、多度津町に続き3番目の額となっています。

続いて、景観行政団体についての説明があり、土庄町が、昨年の10月に、景観法に基づく協議を知事あてに提出し、今年の1月1日に景観法に基づいて具体的な施策を実施する団体となりました。

基本的な方向性として、数多くの観光資源に配慮しながら産業経済活動の場の形成、自然環境の保全と創造など、調和のとれた都市空間づくり



「エンジェルロード公園」整備現地視察

を進めるための計画の策定等を考えているとの説明でした。

**委員より、景観行政団体**になつた理由はとの質問があり、執行部より、自然を壊さないよう、町民の意識を高めたいとの説明でした。

**税務課**

今回の国民健康保険税率の見直しは、介護納付金にかかる税率を変更するもので、税率は、平成18年度の税額を改正して以来、3年間改正をしていない。しかし、年々介護給付費が増加しており、それに伴い、介護納

付金の額も増加しているとの説明でした。

また、来年度、介護報酬の改定が予定され、これにより、全体の介護給付費が約3%増加することが見込まれており、介護保険の保険料も、改定が予定されている。

これらの現状から試算して、均等割は、9千2百円に、平等割は、5千6百円にそれぞれ4百円ずつの増額とし、資産割は、8.4%に、所得割は、1.55%に、それぞれ1%ずつの増率として改正したいとのこと。税額を比較すると、全体では約5%の増額となり、予算ベースで、300万円弱の増加が見込まれるとの説明がありました。

**水道課**

貯水状況について説明があり、現在の貯水状況は、殿川ダムが特に、昨年の7月・8月中の降水量が少ないうえ、秋の台風シーズンにも台風は一度も到来せず、まとまった雨もなかったため殿川

水系では渇水状況が続いています。原水確保としては、貯水池の貯水量を温存するため、殿川と伝

法川の合流点で河川表流水の取水を昨年8月から継続しているとの説明でした。

報告事項として、1月24日に発生した伝法川へのA重油流出事故に伴う対応状況等について報告がありました。

**商工観光課**

**委員より、映画の完成**などについて提案がありました。

昨年7月から製作中の映画「ぼくとママの黄色い自転車」が完成し、今年8月22日から全国で公開が予定されており、土庄町でも、オリーブ百年祭の閉会式を3月15日の15時から実施することになったので、町もPRをして頂きたい。

さらに、2010年瀬戸内国際芸術祭の後、2011年頃に世界のこ

ども映画祭を実施したらどうかという話もあり、今後、議論を進めて発展させたいので、町長に具体的に動いて欲しいという提案がありました。その提案に対し、町長より時間をかけて検討したいとの答弁でした。

**教育民生委員会**

**〔現地視察〕**

中央病院の病児・病後児保育室「げんきっこ」の視察と、12月議会での質問のあった「土庄小学校校舎の雨漏りの現状」の視察を実施しました。



病児・病後児保育室「げんきっこ」の視察

**中央病院**

病児・病後児保育室「げんきっこ」を利用してきる方は、入院を必要としない病気やケガで集団生活に支障のある生後6カ月から小学校3年生までで、定員は4名、登録者数35人、1日平均約2人が利用しているが、多い時にも対応しているとの説明でした。

**委員より、土曜日・日曜日**も開設して欲しいとの要望があり、当委員会として、執行部に対し検討するよう要望しました。

続いて、病院改革ガイドラインの説明があり、これは、総務省から示されたもので、平成20年度内に公立病院改革プランを策定し、事業経営改革に取り組むよう求められています。

全国の町立病院では、200病院うち約8割、県内自治体病院では7割が赤字経営となつています。財政的状況と経営環境が一段と厳しくなっており、「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」

等について、病院運営審議会で協議「公立病院改革プラン」を策定し、3月末日までに国に提出したいとの説明でした。

**委員より**、平成20年度の赤字は、診療報酬の改正によるものかとの質問があり、執行部より、それが大きな原因だが、とにかく収益を上げたい。対策として看護基準を上げる等の策を検討していきたいとの説明がありました。

**教育総務課**

始めに、現地視察した土庄小学校の雨漏りについて質疑をしました。

**委員より**、修理とは別に、点検作業は定期的にやっているのかとの質問があり、執行部より、定期的な点検はしていない、何か問題が起こったときに対応しているとの説明がありました。

**委員より**、原因がわからないでは済まされない、雨漏り対策についてどういう方法があるのか、教育委員会で

検討して報告するよう要望しました。

次に、土庄中学校校舎改築工事の変更追加工事について説明があり、3件の変更工事の合計で、約781万円の増になるとの説明がありました。

**委員より**、なぜ変更がたびたびでくるのか。設計図の合法的なチェックはどこがしているのかとの質問があり、執行部より、内容的なチェックは教育委員会でやっているとの説明がありました。

**委員より**、今後はもっとと精査し進めて欲しいとの強い要望がありました。



「土庄小学校雨漏り現状」の視察

**生涯学習課**

放課後子ども教室の運営状況は土庄・湊崎・大鐸の3つの教室を開いており、内容は、まず宿題を自主的にし、その後、屋外遊びや工作等、それぞれ好みに応じて分けており、午後4時半が原則的に帰宅、保護者の迎えがある場合は午後5時半までということを実施しています。

夏休み等は午前中に実施しています。ただし、午後必要なときは、お母さん方が、自主的に教室を開いているとの説明でした。

- 今後の課題は、
- 児童数が増加してきたこと。
- 教室の内容が多様化してきたこと。
- 責任体制の明確化が必要になってきたこと。

**人権対策課**

小海浜住宅建替事業の進捗状況の説明がありました。現在、平成20年9月に3棟分6戸の建設工

事を発注し、現状では基礎工事が終わり、5月末で工事が完了するとの説明がありました。

続いて、建て替え後の新築は「小海地区人権のまちづくり推進協議会」での話し合いの中で、理解・納得していただきました。共益費は、もう少し住民に配慮してもらいたいという要望があり、県との協議やほかの市町の動向を見て、今回共益費を一律に月額1千500円とする案を作成したとの説明でした。

**福祉課**

まず1点目に「障害福祉計画について」

の進捗状況の説明があり、県に数値目標とサービスマン見込み量の最終報告を行い、現在計画の素案を作成している段階で、出来上がり次第、障害福祉計画策定委員会に提出し、承認後、3月下旬に県に対して提出したいとの説明でした。



2点目は「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画について」ですが、これについても、県にサービスマン見込み量と保険料の最終報告を行い、現在作成中の素案を協議会に提出し、承認いただいた計画を、3月下旬に県へ提出したいとの説明でした。

3点目は、土庄町国民健康保険条例の改正について説明があり、今回の条例の改正は、介護納付金にかかる税率を変更するもので、税率は、平成18年度の税額を改正して以来、3年間改正をしていません。しかし、介護施設の充実および要

介護者の増加から、年々介護給付費が増加しており、それに伴い、介護納付金の額も増加しています。また、来年度、介護報酬の改定が予定されており、全体の介護給付費は約3%の増加が見込まれ、介護保険の保険料についても、改定が予定されています。これらの現状を踏まえ改正したいとの説明でした。

最後に、「子育て応援特別手当」の説明があり、平成20年度の緊急措置として第2子以降の児童一人当たりにつき、3万6千円を支給すること、子育てを行う家庭の生活安心を確保するための事業で、第2子以降の3歳・4歳・5歳の児童が対象となり、定額給付金と一体で行うことを予定しているとの説明でした。

**委員より**、子育て応援特別手当の支給対象者は何人ぐらいかとの質問に対し、執行部より、約200人弱と思われるとの説明でした。

# 町政に対する質問

## 3月定例会 一般質問事項

川本貴也 議員

コールセンター事業についての今後の展開は

**Q** 条件提示を行っている企業側より、誘致に関して、断念する旨の回答があった場合、今後どのように進めていくのか。

**A** 小豆島に進出する意欲のある企業の幹部の方と昨年の夏ごろからお会いし、またこちらから本社を訪問して、土庄町と香川県の助成制度と、併せてコールセンター候補施設の状況をお知らせしました。今後の展開は、企業の代表者が近々に小豆島を訪問する予定となっております。土庄町の状況を視察していただき、企業側の代表者と直接交渉する良い機会になると思います。いよいよ交渉が山場を迎えている段階です。

は、専門試験があります。臨時職員ですが、現在での募集件数は8件、募集人員8人に対して、申込数は、20人です。緊急な場合など、職業安定所だけに依頼する場合もあるが、各課には、町広報紙に必ず掲載するよう指導しています。

**Q** あずき島の環境保全対策

**Q** 新さめぎ百景のポイントであるあずき島の緑化対策を。

**A** むらりづくり事業では、景観保護のため、枯れた樹木の撤去を行うほか、植生基盤を改善する作業等を行った後、マツなどの苗を植栽する計画を立てています。町はこの計画に対して、助成できる部分は助成し、後方支援を行いたいと考えています。

川口幸路 議員

”単独町”生き残りをかけて更なる組織力の向上を!!

**Q** ① 職員の意識改革。

**A** 名札の着用励行、電話の応対、内部講師による相互研鑽等に取り組み、職員の意識改革と資質の向上に一定の成果が現れてきています。今後これらを継続していくことが必要であると考えています。また、村里づくりも、職員が地域の皆さんとともに考えながら地域の発展に取り組んでおり、意識改革の手段として今後とも進めていきたいと考えています。

**Q** ④ 課の再編および統合の検討。

**A** 平成23年3月には10名を超え、平成一の団塊の世代の大量退職が予想されており、現行の組織体制を維持することには困難が予想され、課の再編、統合は避けられないと考えています。

**Q** ⑤ 明るく元気な職場づくりについて。

**A** 職員の改革と組織の改革は、まさに町が取り組んでいる行財政改革そのものです。職員の意識改革を推進し、地方分権の時代に相応した明るく元気な職場づくりを進めていく所存です。

港百周年の記念行事を検討してはどうか。

**A** 小豆郡誌には、現在の吉ヶ浦に土庄港が竣工したのは明治44年12月18日との記録があり、2011年であろうと百年になります。さらに詳しい資料収集も合わせて各種団体とも相談しながら検討させていただきます。

定額給付金の早期支給を

**Q** 5月頃ではなく、4月支給はできないか。また、半額は地元消費券的なものを検討しては。

**A** 早期支給に向ける4月中には第一回目の振り込みを目指し現在努力しているところです。また、プレミアム付き商品券ですが、新たに町単独財源を確保する必要があり、商工会と実施の可否も含め検討してまいります。

**Q** 正職員・臨時職員採用の美情は。

山本良熙 議員  
職員の採用は慎重かつ適正に

**A** 平成21年度の正規職員採用は、一般行政5名(大学卒業程度)、保育士1名(短大卒業程度)、一般事務1名(高校卒業程度)を町広報紙平成20年6月号で募集しました。

香川県内統一試験を行い、教養試験・専門試験・適性試験・論文試験と専門的な職業の場合



**A** 課長会の報告は、課内ミーティングにより、課長から課員へ報告することで職員への周知徹底を図っているところです。

**Q** ② 職員間のコミュニケーションの向上。  
**Q** ③ 報告・連絡・相談(ほうれんそう)の強化。

三枝邦彦 議員

開港記念行事の検討を

**Q** 大 部 港 開 港 40 周年、土庄港開



定住自立圏構想の参画に際しての取り組み視点を慎重に

高松市の構想の中に、アートの直島や観光地の小豆島を取り込み、宿泊などで高松市への誘客に生かす考えを示しています。観光客の宿泊については譲れないものです。協定書締結には十分見極めた対応をお願いしたい。

本年3月4日に高松市が中心市となつて「瀬戸・高松定住自立圏構想(仮称)」を形成していくことを宣言しました。今後は、高松市とそれぞれの町が1対1による協定書を締結していく予定です。協定書締結時には十分配慮していきたい。

「コマ栽培の復活を」  
オリーブ百年祭も終わりました。新たな試みとして「かごとや製油」と連携し、補助金をつけた「コマ栽培の復活を検討しては。」

コマの栽培は、収穫作業が機械化できない、連作すると病害が発生しやすく、また、収穫量も少なく販売単価の設定など色々な問題があり、今すぐに推進することは、非常に難しいものと考えます。

泊 満夫議員  
船舶運航ダイヤ遵守を、船会社に申し入れを

土庄・高松間のフェリー到着時刻が遅れている。町からも申し入れを。

運行ダイヤ等々については、関係船会社に対し、町民の意見をぜひ入れていただくようお願いに行きたい。

土庄町社会福祉協議会の町民への信頼回復に町として今後どのように対応するのか

①町と社協との関係はどのようなものか改めてご説明願いたい。

社会福祉協議会は、社会福祉法人として独立した民間団体である。行政も地域福祉の向上を図っていくことを使命としているので、その目的は同じです。

②会長・副会長が首長および議会から選出されているが、その経緯は。

町長は学識経験者として、教育民生委員長は社会福祉関係行政機関の代表者として理事に選任され理事の互選によって会長、副会長に選任されています。

③今後信頼回復に向け、社会福祉協議会内部の改革は当然ながら、町の関わり方は。

土庄町としても、今回の反省を踏まえ、円滑な運営が実施できるよう運営費等の補助など可能な範囲で支援を行い、地域における社会福祉のより一層の

向上を図ってまいりたいと考えています。

◆そのほか、「景観法適用による「迷路のまち」のシンボルになる「石奉行陣屋跡」建物を景観重要建造物に指定することについての検討を》、《町へのワークシェアリングの導入による雇用確保策の研究・検討》の質問がありました。

井上正清議員  
太陽光発電の町独自の助成の検討を

経済産業省は、2005年度で打ち切っていた太陽光発電補助金を、今年1月13日に「住宅太陽光発電導入支援対策補助金」として募集を開始しました。そこで土庄町における補助金の設置が望まれる。

クリーンエネルギーギアとしての太陽光発電は、環境に配慮した取り組みであることは十分承知をしているが、町としては現時点で町独自の補助制度を創設

することは大変難しいと考えています。

子育て支援について

中央病院で病児・病後児保育が始まったが、かがわ緊急サポートが廃止。育児中の母親への援護が第2子・第3子の希望に再検討が望まれる。

①ファミリーサポートセンター事業の立ち上げについて

ファミリーサポートセンター事業は、緊急サポートネットワークの人材を活用しながら、町として行える事業内容の吟味と、土庄町におけるニーズなどを把握したうえで、少子化担当課と協議を重ねたうえで検討していけたらと思っています。

②子育て支援センターの職員増員と施設整備について  
平成22年度から職員の2人体

制化は国の補助規定の関係から必須事項となっており、人材育成も含め、早い時期での事業開始に向けた準備を進めていけたらと考えています。

③幼稚園での3歳児長期預かり保育の実施について。

4・5歳児と3歳児は心身の発達の違いがあり、クラス分けが必要となり、専任保育者の増員等指導体制の検討、午睡場所等の環境整備が必要となります。実施に踏み切るには、まだまだ課題があるので、当面現状でいきたいと考えています。

上川正衛議員  
新小学校の開校に向けた進め方は

土庄町教育委員会において、豊島を除く小学校は将来的に1校との答申がなされたが、開校時期を考えた場合、かなりの時間が費やされると思われる

が、新小学校に関する予算も見当たらない。今後に向けてのお考えをお聞きしたい。

**A**

本年2月教育委員会から「適

正な学校規模の維持と児童の安全・安心を守るため、豊島小学校を除いた4小学校を平成26年4月開校を目的に、新築1校に整備すべきである。」という報告がなされ、この方針を基本として、目標達成に向けて鋭意努力していく所存ですが、子育てを中心として住民生活と地域社会全体に与える影響が大きいと推測されることから、町行政としての総合的な検討協議が欠かせないものと考えていますので、今後は、町長部局を含めた町執行部としての総合的かつ慎重な検討に着手して行く所存です。

公金の資金運用、管理を効率的に

**Q**

公金の安全運用、収支の均衡の維持。

**A**

金融機関が破たんした場合、町が借り入れた借金と、預金等に係る債権を相殺

できるという条例を設け、自衛策を講じていますが、いつ金融機関が破たんするか分からないので、各金融機関の自己資本比率、株価等、経営状況の判断基準を定めた「土庄町会計管理者資金運用基準」を遵守して、公金喪失を未然に防ぐことを基本方針としています。

柳生好彦 議員

町政全般について問う

**Q**

① 豊島の福武美術館との運動

策は。

**A**

直島福武美術館財団が唐櫃に

建設する美術館は、来年の8月完成、10月の開館を目指し建設されています。町としても出来ることは、住民・関係者とともに積極的に協力していきたいと考えています。

**Q**

② 5年後のビジョンは。

**A**

施政方針でも申しましたように町の将来像を検討する庁内プロジェクトを立ち上げた中で、検討していきたいと考えています。

**Q**

③ コールセンター事業に民間

**Q**

④ 本町の産業振興策は。

**A**

交渉中の企業に対して、既存施設の条件と本町の助成制度と併せて提示しており、結論が出るまでは、既存施設の利用方針を堅持したいと考えています。

**Q**

⑤ 101年目以降のオリーブ

**A**

県農業改良普及センター、町、農協、生産者などで組織する小豆島オリーブ振興協議会を中心に、病虫害防除における講演会を

への取り組みは。

**A**

現在、初めての直島へ訪問時の素案を拝見したので、素案を基に2011年に向けて、映画祭の内容・方法・構成団体・関係機関と十分な連携を図り、映画祭の成功に向けて取り組んでいきたいと考えています。

**Q**

⑥ 仮称「世界の子ども映画祭」

交通問題対策特別委員会報告

1月29日に4回目の交通問題対策特別委員会を開催しました。

当日は、国土交通省四国運輸局の海事振興部旅客課長による「一般旅客定期航路事業における許認可等の手続き及び指定区間について」をテーマに研修会を開きました。平成12年度からの規制緩和により免許制から、許可制になった。しかし、小豆島に係る航路は「指定区間」として指定されており、船舶以外に交通機関がない区間、離島そのほかの地域住民が日常生活等を営むために必要な船舶による輸送が確保されるべき区間として、国土交通大臣が指定します。

また、サービス基準とは、指定区間においての内容を具体的に示した基準であり、事業計画等で運航日程や運航回数等を審査する基準です。

委員より、許認可や見直し

編集後記

「いらかの波と雲の波 重なる波の中空を橋かおる朝風に 高く泳ぐや 鯉のぼり」 戸形崎の鯉のぼりを見ていると「鯉のぼりの歌」をつい口ずさみたくなる光景です。 さわやかな潮風に乗って、海の上を気持ちよさそうに泳ぐ鯉のぼり。「小学新一年生のみんな、大空へはばたこう」とお祝いをしているかのようです。また、新年度が始まりました、私たちにも元気を与えてくれます。

皆さまのご意見をお待ちいたしております。

町議会を傍聴してみませんか！

次回は、6月17日からの予定です。詳しくは、議会事務局（TEL62-7011）へお問い合わせください。

この議会だよりは、再生紙を使用しています。